

S01P/257 US00

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

1c978 U.S. PTO
09/934170
08/21/01

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2000年 8月22日

出 願 番 号

Application Number:

特願2000-250532

出 願 人

Applicant(s):

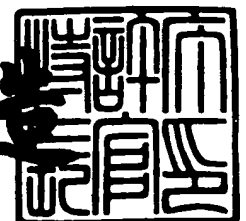
ソニー株式会社

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2001年 6月18日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3056818

【書類名】 特許願

【整理番号】 0000516404

【提出日】 平成12年 8月22日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 17/30

【発明者】

【住所又は居所】 東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニー株式会社
内

【氏名】 中嶋 康久

【特許出願人】

【識別番号】 000002185

【氏名又は名称】 ソニー株式会社

【代表者】 出井 伸之

【代理人】

【識別番号】 100082131

【弁理士】

【氏名又は名称】 稲本 義雄

【電話番号】 03-3369-6479

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 032089

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9708842

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 情報処理装置および方法、情報処理システム、並びに記録媒体

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 第 1 の装置から指定された配送先に商品を配送する情報処理装置において、

前記第 1 の装置から入力された電話番号に基づいて、第 2 の装置に接続し、顧客情報を検索するように要求する検索要求手段と、

前記第 2 の装置から供給された検索結果を、前記第 1 の装置に提示する提示手段と、

前記第 1 の装置から入力された発注情報に基づいて、第 3 の装置に前記商品を発注する発注手段と

を備えることを特徴とする情報処理装置。

【請求項 2】 前記第 2 の装置から供給された前記顧客情報を記憶する記憶手段と、

前記第 1 の装置から入力された前記電話番号に基づいて、前記記憶手段に記憶されている前記顧客情報を検索する検索手段と

をさらに備え、

前記提示手段は、前記検索手段による検索の結果、前記顧客情報が検索された場合、その顧客情報を前記第 1 の装置に提示する

ことを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 3】 前記顧客情報は、住所または氏名を含むことを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 4】 第 1 の装置から指定された配送先に商品を配送する情報処理装置において、

前記第 1 の装置から入力された電話番号に基づいて、第 2 の装置に接続し、顧客情報を検索するように要求する検索要求ステップと、

前記第 2 の装置から供給された検索結果を、前記第 1 の装置に提示する提示ステップと、

前記第 1 の装置から入力された発注情報に基づいて、第 3 の装置に前記商品を

発注する発注ステップと

を含むことを特徴とする情報処理方法。

【請求項 5】 第 1 の装置から指定された配送先に商品を配送する情報処理装置用のプログラムにおいて、

前記第 1 の装置から入力された電話番号に基づいて、第 2 の装置に接続し、顧客情報を検索するように要求する検索要求ステップと、

前記第 2 の装置から供給された検索結果を、前記第 1 の装置に提示する提示ステップと、

前記第 1 の装置から入力された発注情報に基づいて、第 3 の装置に前記商品を発注する発注ステップと

を含むことを特徴とするコンピュータが読み取り可能なプログラムが記録されている記録媒体。

【請求項 6】 第 1 の情報処理装置、第 2 の情報処理装置、第 3 の情報処理装置、および第 4 の情報処理装置からなる情報処理システムにおいて、

前記第 1 の情報処理装置は、

商品の配送先の電話番号を入力し、前記第 2 の情報処理装置に送信する第 1 の送信手段と、

前記第 2 の情報処理装置から提示された前記電話番号に対応する顧客情報を取得する取得手段と、

前記第 2 の情報処理装置に前記商品の発注情報を送信する第 2 の送信手段とを含み、

前記第 2 の情報処理装置は、

前記第 1 の情報処理装置から入力された電話番号に基づいて、前記第 3 の情報処理装置に接続し、前記顧客情報を検索するように要求する検索要求手段と

前記第 3 の情報処理装置から供給された検索結果を、前記第 1 の情報処理装置に提示する提示手段と、

前記第 1 の情報処理装置から入力された前記発注情報に基づいて、前記第 4 の情報処理装置に前記商品を発注する発注手段と

を含み、

前記第 3 の情報処理装置は、

前記顧客情報を記憶する記憶手段と、

前記第 2 の情報処理装置からの検索要求に基づいて、前記記憶手段に記憶されている前記顧客情報を検索する検索手段と、

前記検索手段の検索結果を、前記第 2 の情報処理装置に供給する供給手段とを含み、

前記第 4 の情報処理装置は、

前記第 2 の情報処理装置から前記商品の発注を受けて、受注が完了したことを前記第 2 の情報処理装置に通知する通知手段とを含むことを特徴とする情報処理システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、情報処理装置および方法、情報処理システム、並びに記録媒体に関し、特に、購入した商品の配送先を容易に指定することができるようにした情報処理装置および方法、情報処理システム、並びに記録媒体に関する。

【0002】

【従来の技術】

最近、インターネットに代表されるネットワークシステムが普及してきた。これにより、ユーザは、インターネットを介して情報を発信したり、あるいは、情報を受け取ったりするなどの電子商取引（エレクトロニック・コマース（EC））を容易に行うことができる。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

ところで、電子商取引を行う場合において、購入した商品（例えば、コンテンツ）の配送先（送り先）は、必ずしも、その商品を購入したユーザの住所や端末装置ではない場合がある。例えば、贈り物などは、その商品の購入者の住所や端末装置に配送されるのではなく、商品購入者が指定した配送先に配送される。

【0004】

そこで、購入した商品を指定した配送先に配送する場合、ユーザは、キーボードなどの入力装置を用いて、配送先の住所や氏名などの入力を行う必要がある。しかしながら、一般のユーザにキーボード操作を行わせることや、場合によっては、日本語変換を行わせる操作は、煩わしさを感じさせる課題があった。

【0005】

そのため、電子商取引を希望していたとしても、その購入機会が損なわれる課題があった。

【0006】

本発明はこのような状況に鑑みてなされたものであり、購入した商品の配送先を容易に指定することができるようにするものである。

【0007】

【課題を解決するための手段】

本発明の情報処理装置は、第1の装置から入力された電話番号に基づいて、第2の装置に接続し、顧客情報を検索するように要求する検索要求手段と、第2の装置から供給された検索結果を、第1の装置に提示する提示手段と、第1の装置から入力された発注情報に基づいて、第3の装置に商品を発注する発注手段とを備えることを特徴とする。

【0008】

本発明の情報処理装置は、第2の装置から供給された顧客情報を記憶する記憶手段と、第1の装置から入力された電話番号に基づいて、記憶手段に記憶されている顧客情報を検索する検索手段とをさらに設けるようにすることができ、提示手段は、検索手段による検索の結果、顧客情報が検索された場合、その顧客情報を第1の装置に提示させるようにすることができる。

【0009】

顧客情報は、住所または氏名を含むようにすることができる。

【0010】

本発明の情報処理方法は、第1の装置から入力された電話番号に基づいて、第2の装置に接続し、顧客情報を検索するように要求する検索要求ステップと、第

2の装置から供給された検索結果を、第1の装置に提示する提示ステップと、第1の装置から入力された発注情報に基づいて、第3の装置に商品を発注する発注ステップとを含むことを特徴とする。

【0011】

本発明の記録媒体に記録されているプログラムは、第1の装置から入力された電話番号に基づいて、第2の装置に接続し、顧客情報を検索するように要求する検索要求ステップと、第2の装置から供給された検索結果を、第1の装置に提示する提示ステップと、第1の装置から入力された発注情報に基づいて、第3の装置に商品を発注する発注ステップとを含むことを特徴とする。

【0012】

本発明の情報処理装置および方法、並びに記録媒体に記録されているプログラムにおいては、第1の装置から入力された電話番号に基づいて、第2の装置に顧客情報の検索が要求され、第2の装置から供給された検索結果が第1の装置に提示され、第1の装置から入力された発注情報に基づいて、第3の装置に商品が発注される。

【0013】

本発明の情報処理システムは、第1の情報処理装置が、商品の配送先の電話番号を入力し、第2の情報処理装置に送信する第1の送信手段と、第2の情報処理装置から提示された電話番号に対応する顧客情報を取得する取得手段と、第2の情報処理装置に商品の発注情報を送信する第2の送信手段とを含み、第2の情報処理装置が、第1の情報処理装置から入力された電話番号に基づいて、第3の情報処理装置に接続し、顧客情報を検索するように要求する検索要求手段と、第3の情報処理装置から供給された検索結果を、第1の情報処理装置に提示する提示手段と、第1の情報処理装置から入力された発注情報に基づいて、第4の情報処理装置に商品を発注する発注手段とを含み、第3の情報処理装置が、顧客情報を記憶する記憶手段と、第2の情報処理装置からの検索要求に基づいて、記憶手段に記憶されている顧客情報を検索する検索手段と、検索手段の検索結果を、第2の情報処理装置に供給する供給手段とを含み、第4の情報処理装置が、第2の情報処理装置から商品の発注を受けて、受注が完了したことを第2の情報処理装置

に通知する通知手段と含むことを特徴とする。

【0014】

本発明の情報処理システムにおいては、第2の情報処理装置で、第1の情報処理装置から入力された電話番号に基づいて、第3の情報処理装置に顧客情報の検索が要求され、第3の情報処理装置から供給された検索結果が第1の情報処理装置に提示され、第1の情報処理装置から入力された発注情報に基づいて、第4の情報処理装置に商品が発注される。

【0015】

【発明の実施の形態】

図1は、本発明を適用した情報処理システムの構成例を示している。この構成例においては、ユーザ端末装置1と接続中継局2が無線通信され、接続中継局2が、サーバ3と接続され、さらに、サーバ3が、電話会社管理センタ6-1乃至6-3と接続されている。なお、ユーザ端末装置1と接続中継局2は、公衆回線網などを介して有線通信させることも可能である。

【0016】

ユーザ端末装置1は、例えば、デジタルテレビジョン放送番組や商取引番組（いわゆる、テレビショッピング）を受信したり、受信した番組をハードディスクに記録するハードディスクレコーダで構成される。ユーザ端末装置1は、ユーザにより入力された商品購入に関する情報（例えば、商品の配送先の電話番号や発注情報など）を、アンテナ1aを介して接続中継局2に送信する。

【0017】

接続中継局2は、アンテナ2aを介してユーザ端末装置1より送信されてきた、商品購入に関する情報をサーバ3に送信する。

【0018】

サーバ3は、接続中継局2を介してユーザ端末装置1より送信されてきた、商品購入に関する情報（電話番号）から電話会社を特定するとともに、特定された電話会社に対応する電話会社管理センタ6-1乃至6-3のいずれか1つに、受信した電話番号を送信し、顧客情報の検索を要求する。サーバ3はまた、電話会社管理センタ6-1乃至6-3より供給された検索結果（顧客情報）をユーザ端

末装置 1 に提示（送信）する。サーバ 3 はまた、ユーザ端末装置 1 より送信されてきた商品購入に関する情報（発注情報）に基づいて、サービスプロバイダ 5 に所定の商品を発注する。サーバ 3 はさらに、ユーザ端末装置 1 が支払い可能であるか否かを銀行サーバ 4 に問い合わせる。

【0019】

銀行サーバ 4 は、サーバ 3 からの問い合わせに対して、ユーザ端末装置 1 のユーザが支払い可能であるか否かを調査する。サービスプロバイダ 5 は、サーバ 3 からの発注を受けて、受注が完了したことをサーバ 3 に通知する。サービスプロバイダ 5 はまた、指定された配送日が到来すると、指定された配送先に商品を配送する。

【0020】

電話会社管理センタ 6-1 乃至 6-3 は、それぞれ、サーバ 3 からの検索要求を受けて、データベース（DB）7-1 乃至 7-3 に蓄積されている顧客情報を検索する。データベース 7-1 乃至 7-3 には、電話番号毎に、氏名および住所などの顧客情報が蓄積されている。

【0021】

なお、電話会社管理センタ 6-1 は、A 社の電話会社に対応する管理センタであり、電話会社管理センタ 6-2 は、B 社の電話会社に対応する管理センタであり、電話会社管理センタ 6-3 は、C 社の電話会社に対応する管理センタである。すなわち、データベース 7-1 には、A 社の電話会社と契約を結んでいるユーザの顧客情報が蓄積され、データベース 7-2 には、B 社の電話会社と契約を結んでいるユーザの顧客情報が蓄積され、データベース 7-3 には、C 社の電話会社と契約を結んでいるユーザの顧客情報が蓄積される。

【0022】

携帯電話機 8 は、電話会社管理センタ 6-1 乃至 6-3 のいずれか 1 つの電話会社の通信方式に対応している（以下、説明をわかりやすくするため、携帯電話機 8 は、A 社の電話会社から提供（販売）されたものとする）。携帯電話機 8 のアンテナ 8a は、電話会社管理センタ 6-1 乃至 6-3 のいずれか（いまの場合、電話会社管理センタ 6-1）より、アンテナ 6-1a 乃至 6-3a のいずれか

(いまの場合、アンテナ6-3a)を介して送信されてきたデータ(例えば、コンテンツ)を受信する。携帯電話機8はまた、電子メールの送受信、簡易ホームページの閲覧、画像の送受信等の多種に及ぶデータ通信を実行することができる。

【0023】

図2は、ユーザ端末装置1の詳細な構成例を示すブロック図である。

【0024】

このユーザ端末装置1においては、チューナ11が、図示せぬBSアンテナにより受信され、中間周波信号に変換された信号の入力を受け、その中間周波信号をベースバンド信号に変換する。デジタル復調回路12は、チューナ11より入力されたベースバンド信号をデジタル復調し、エラー訂正回路13に出力する。エラー訂正回路13は、デジタル復調回路12より入力された復調データのエラー訂正処理を行い、デマルチプレクサ14に出力する。デマルチプレクサ14は、CPU22により制御され、エラー訂正回路13より入力される伝送チャンネルのデータの中から、視聴者が希望する番組チャンネルのデータを抽出する。

【0025】

視聴者により記録が指令されている場合、ハードディスクドライブ(HDD)16は、システムバス25を介してデマルチプレクサ14より出力されたデータの供給を受け、記録する。ICカードインタフェース17に装着されたICカード41は、そこに記録されている鍵(1次鍵)を利用して、デスクランブル処理(1次復号処理)を実行する。携帯電話モジュール18は、アンテナ1aを介して、最寄りの接続中継局2と無線で通信し、必要な鍵(2次鍵)を取得し、フラッシュメモリ15に記憶させる。

【0026】

チューナ19は、図示せぬ地上波アンテナで受信された地上波放送信号を復調し、ベースバンド信号を出力する。ビデオデコーダ20は、チューナ19より入力されたベースバンドのビデオ信号を前処理してアナログ信号からデジタル信号に変換し、MPEG(Moving Picture Experts Group)エンコーダ21に出力する。MPEGエンコーダ21は、ビデオデコーダ20より入力されたビデオデータをMPEG

方式で圧縮する。記録が指令されている場合、MPEGエンコーダ 2 1 の出力は、システムバス 2 5 を介してハードディスクドライブ 1 6 に供給され、記録される。

【 0 0 2 7 】

MPEGデコーダ 2 3 は、ハードディスクドライブ 1 6 より再生されたデータ、またはデマルチプレクサ 1 4 もしくはMPEGエンコーダ 2 1 より出力されたデータがシステムバス 2 5 を介して供給されると、それをMPEG方式でデコードし、得られた映像信号をOSD (On Screen Display) 回路 2 4 に出力し、音声信号を図示せぬスピーカなどに出力する。OSD回路 2 4 はまた、CPU 2 2 により制御され、文字などの映像信号をMPEGデコーダ 2 3 より入力された映像信号に多重化し、図示せぬCRT (Cathode Ray Tube) などに出力する。

【 0 0 2 8 】

受光部 2 6 は、リモートコマンド 4 2 が出力する赤外線信号を受光し、対応する検知信号を、システムバス 2 5 を介してCPU 2 2 に出力する。ドライブ 2 7 には、磁気ディスク 3 1、光ディスク 3 2、光磁気ディスク 3 3、または半導体メモリ 3 4 が装着され、それらに記録されているプログラムなどを適宜ロードする。

【 0 0 2 9 】

図 3 は、サーバ 3 の詳細な構成例を示すブロック図である。

【 0 0 3 0 】

輻輳制御管理部 5 1 は、輻輳制御部 5 5 を制御し、接続中継局 2 と接続させる。輻輳制御管理部 5 1 はまた、輻輳制御部 5 5 を制御し、接続中継局 2 を介してユーザ端末装置 1 より送信されてきた顧客情報（電話番号）を顧客管理部 5 3 に供給させる。輻輳制御管理部 5 1 はさらに、インターネットゲートウェイ 5 7 を介してサービスプロバイダ 5 に商品を発注し、それによりサービスプロバイダ 5 から取得した納期等の受注情報を、輻輳制御部 5 5 を介してユーザ端末装置 1 に送信する。

【 0 0 3 1 】

料金管理部 5 2 は、ユーザ端末装置 1 に対する課金処理を行い、請求書を発行する。

【0032】

顧客管理部 53 は、輻輳制御部 55 より供給された顧客情報（電話番号）が、内部に、既に登録されているか否かの認証を行い、登録済みと判定した場合、ユーザ端末装置 1 に認証が成立したことを通知する。顧客情報が未だ登録されていないと判定された場合、その電話番号から電話会社（例えば、A 社の電話会社）を特定し、輻輳制御部 55 を介して電話会社管理センタ 6-1 に、顧客情報の検索を要求する。顧客管理部 53 はさらに、決済ゲートウェイ 54 を介して銀行サーバ 4 に接続し、登録されている決済方法（例えば、クレジットカードによる決済、または他の料金と合算された状態で請求）に基づいて、決済処理を行う。

【0033】

輻輳制御部 55 は、電話回線やケーブルなどによる有線の通信を制御する。例えば、商品購入に関する情報の受信、あるいは、認証結果を送信する場合は、この輻輳制御部 55 を介して接続中継局 2 と通信を行うことにより、データの授受が行われる。

【0034】

アプリケーション管理部 56 は、輻輳制御部 55 を介して電話会社管理センタ 6-1 より送信されてきた検索結果に基づいて、ユーザ端末装置 1 で表示できる情報に変換し、輻輳制御部 55 を介してユーザ端末装置 1 に送信する。アプリケーション管理部 56 はまた、電話会社管理センタ 6-1 より送信されてきた検索結果（顧客情報）を、顧客管理部 53 に供給し、そこに記憶（登録）させる。

【0035】

図 4 は、顧客管理部 53 の内部に蓄積されている顧客情報の例を示している。顧客管理部 53 は、ユーザ端末装置 1 より入力された電話番号に基づいて、電話会社管理センタ 6 に対して、顧客情報を検索するように要求する。そして、顧客管理部 53 は、検索結果（顧客情報）を内部に蓄積しておくことにより、次回、同じ番号が入力された場合には、電話番号管理センタ 6 に問い合わせる必要がなくなる。

【0036】

図 4 の例の場合、第 1 番目のエントリには、電話番号が「03-2345-6789」、氏

名が「江戸太郎」、住所が「東京都中央区***」からなる顧客情報が蓄積されている。第2番目のエントリには、電話番号が「045-123-4567」、氏名が「平成花子」、住所が「神奈川県横浜市***」からなる顧客情報が蓄積されている。

【0037】

なお、顧客情報は、住所および氏名に限らず、例えば、ユーザ端末装置1のシリアル番号または契約番号などを関連付けるようにしてもよい。

【0038】

次に、ユーザ端末装置1の基本的な動作について説明する。視聴者が、リモートコマンド42を操作し、所定の番組の受信を指令すると、その指令に対応する赤外線信号が、リモートコマンド42より出力される。受光部26は、この信号を受信すると、その信号に対応する信号をシステムバス25を介してCPU22に出力する。

【0039】

CPU22は、この指令信号を受けたとき、チューナ11を制御し、指定された番組を含む伝送チャンネルの中間周波信号を選択させる。チューナ11は、指令された伝送チャンネルの中間周波信号をBSアンテナより受信し、ベースバンド信号に復調してデジタル復調回路12に出力する。デジタル復調回路12は、入力されたベースバンド信号をデジタル復調し、エラー訂正回路13に出力する。エラー訂正回路13は、入力されたデータのエラー訂正処理を行った後、デマルチプレクサ14に出力する。

【0040】

デマルチプレクサ14は、エラー訂正回路13より入力された伝送チャンネルのデータから、CPU22により指定された番組チャンネルのデータを選択し、システムバス25を介してMPEGデコーダ23に出力する。MPEGデコーダ23は、入力されたデータをMPEG方式でデコードし、音声信号を図示せぬスピーカに出力する。また、MPEGデコーダ23より出力された映像信号は、OSD回路24を介して図示せぬCRTなどに出力され、表示される。

【0041】

なお、受信された信号が1次鍵により暗号化（スクランブル）されている場合

には、ICカード41が記憶している1次鍵を利用して、デマルチプレクサ14より出力されたデータをデスクランブルする。デスクランブルされたデータがMPEGデコーダ23に出力され、上述したようにして、デコードされ、表示される。

【0042】

受信された映像データが、2次鍵でも暗号化（スクランブル）されている場合には、携帯電話モジュール18が、最寄りの接続中継局2を介して2次鍵を管理するセンタ（図示せず）にアクセスし、2次鍵を取得し、フラッシュメモリ15に記憶させる。CPU22は、この取得した2次鍵を利用して、1次のスクランブルが解除された映像信号の2次のスクランブルをさらに解除する。

【0043】

二重に暗号化（スクランブル）がかけられている場合には、二重に復号（デスクランブル）して、初めて視聴可能な映像信号が得られることになる。

【0044】

また、リアルタイムの番組受信の他に、一旦、ハードディスクドライブ16に蓄積された番組を視聴者が指定して操作する場合も、同様の2次鍵のデスクランブル処理を行い、MPEGデコーダ23に出力して実行する。

【0045】

なお、この2次の復号処理（デスクランブル処理）は、CPU22により行うのではなく、専用のハードウェアを設け、その専用のハードウェアに実行させるようにすることも可能である。

【0046】

次に、図5のフローチャートを参照して、ユーザ端末装置1が実行する、商品の購入処理について説明する。なお、この処理は、ユーザによりリモートコマンド42が操作され、商品を購入するための指令（コマンド）が発せられたときに開始される。

【0047】

ステップS1において、ユーザ端末装置1のCPU22は、初期画面をモニタ表示させる。これにより、例えば、図6に示されるような初期画面が表示される。

【0048】

図 6 の例の場合、メッセージ表示エリア 7 1 には、ユーザに対して、メッセージ「送り先の電話番号を入力して下さい」が表示される。このメッセージを確認したユーザにより、リモートコマンド 4 2 が用いられ、電話番号入力エリア 7 2 に配送先の電話番号が入力される。

【 0 0 4 9 】

図 5 に戻って、ステップ S 2 において、CPU 2 2 は、ユーザにより送り先（配送先）の電話番号が入力されたか否か、すなわち、電話番号入力エリア 7 2 に電話番号が入力されたか否かを判定し、送り先の電話番号が入力されるまで待機する。そして、ステップ S 2 において、送り先の電話番号（例えば、03-2345-6789）が入力されたと判定された場合、ステップ S 3 に進み、CPU 2 2 は、ステップ S 2 の処理で入力された電話番号をフラッシュメモリ 1 5 あるいはハードディスクドライブ 1 6 に一時蓄積させる。

【 0 0 5 0 】

ステップ S 4 において、CPU 2 2 は、ステップ S 3 の処理でフラッシュメモリ 1 5 あるいはハードディスクドライブ 1 6 に一時蓄積されている数字（電話番号）の桁数を算出する。ステップ S 5 において、CPU 2 2 は、ステップ S 4 の処理で算出された桁数が 1 0 桁または 1 1 桁であるか否かを判定し、1 0 桁または 1 1 桁ではないと判定した場合、ステップ S 2 に戻り、上述した処理を繰り返す。

【 0 0 5 1 】

ステップ S 5 において、ステップ S 4 の処理で算出された桁数が 1 0 桁または 1 1 桁であると判定された場合、ステップ S 6 に進み、CPU 2 2 は、携帯電話モジュール 1 8 を制御し、接続中継局 2 を介してサーバ 3 と回線を接続させる。

【 0 0 5 2 】

ステップ S 7 において、CPU 2 2 は、ステップ S 3 の処理でフラッシュメモリ 1 5 あるいはハードディスクドライブ 1 6 に一時蓄積されている電話番号（いまの場合、03-2345-6789）をサーバ 3 に送信（伝送）する。これにより、サーバ 3 は、ユーザ端末装置 1 より送信されてきた電話番号に基づいて、顧客管理部 5 3 の内部に、既にその電話番号に対応する顧客情報（図 4）が登録されているか否かを判定する。そして、顧客情報が登録されていると判定された場合、サーバ 3

は、その顧客情報（図4の例の場合、第1番目にエントリされている情報）をユーザ端末装置1に送信する。

【0053】

ステップS8において、CPU22は、サーバ3より顧客情報を取得したか否かを判定し、顧客情報を取得するまで待機する。そして、ステップS8において、サーバ3より顧客情報が取得されたと判定された場合、ステップS9に進み、CPU22は、確認画面をモニタ表示させる。これにより、例えば、図7に示されるような確認画面が表示される。

【0054】

図7の例の場合、メッセージ表示エリア71には、ユーザに対して、メッセージ「送り先は正しいですか」とともに、送り先の住所および氏名（図7の例の場合、東京都中央区*** 江戸太郎様）が表示される。このメッセージを確認したユーザにより、リモートコマンド42が用いられ、OKボタン81、修正ボタン82、または取消ボタン83が押下される。

【0055】

図5に戻って、ステップS10において、CPU22は、ユーザにより、確認画面に表示されているボタンが押下されたか否かを判定し、ボタンが押下されるまで待機する。そして、ユーザによりボタンが押下されると、ステップS11に進み、CPU22は、ステップS10の処理でユーザにより押下されたボタンは、OKボタン81であるか否かを判定する。

【0056】

ステップS11において、ユーザにより押下されたボタンがOKボタン81であると判定された場合、ステップS12に進み、CPU22は、ユーザにより入力された、発注に必要なデータ（発注情報）をサーバ3に送信する。これによりサーバ3は、ユーザ端末装置1より受信した発注情報に基づいて、サービスプロバイダ5に所定の商品を発注する。そして、サーバ3は、サービスプロバイダ5より受注完了の通知を受けて、ユーザ端末装置1に対して、受注完了に関する情報を送信する。

【0057】

ステップ S 1 3 において、CPU 2 2 は、サーバ 3 より送信されてきた受注完了に関する情報に基づいて、終了画面をモニタ表示させる。これにより、例えば、図 8 に示されるような終了画面が表示される。

【 0 0 5 8 】

図 8 の例の場合、メッセージ表示エリア 7 1 には、ユーザに対して、メッセージ「ご注文ありがとうございました」とともに、配送日（図 8 の例の場合、5 月 1 8 日）が表示される。このメッセージを確認したユーザにより、リモートコマンド 4 2 が用いられ、OK ボタン 9 1 が押下される。

【 0 0 5 9 】

図 5 に戻って、ステップ S 1 3 において、ユーザにより、終了画面に表示されている配送日が確認されると（すなわち、OK ボタン 9 1 が押下されると）、ステップ S 1 4 に進み、CPU 2 2 は、サーバ 3 より得られた顧客情報（住所および氏名など）を、フラッシュメモリ 1 5 あるいはハードディスクドライブ 1 6 に記憶させる。

【 0 0 6 0 】

ステップ S 1 1 において、ユーザにより押下されたボタンが OK ボタン 8 1 ではないと判定された場合、ステップ S 1 5 に進み、CPU 2 2 は、さらに、ユーザにより押下されたボタンが修正ボタン 8 2 であるか否かを判定する。

【 0 0 6 1 】

ステップ S 1 5 において、ユーザにより押下されたボタンが修正ボタン 8 2 であると判定された場合、ステップ S 1 に戻り、初期画面（図 6）を再表示させ、上述した処理を繰り返す。そして、ステップ S 1 5 において、ユーザにより押下されたボタンが修正ボタン 8 2 ではないと判定された場合、ステップ S 1 6 に進み、CPU 2 2 は、ユーザにより押下されたボタンは、取消ボタン 8 3 であると認識し、ステップ S 1 7 に進む。

【 0 0 6 2 】

ステップ S 1 4 またはステップ S 1 6 の処理の後、ステップ S 1 7 において、CPU 2 2 は、携帯電話モジュール 1 8 を制御し、サーバ 3 との回線接続を切断させ、処理は終了される。

【 0 0 6 3 】

このように、ユーザ端末装置 1 は、商品の配送先の電話番号を入力するだけで、その配送先の情報（顧客情報）を取得することができる。これにより、ユーザは、配送先の住所や氏名などの入力操作を行う必要がなくなる。

【 0 0 6 4 】

また、以上においては、サーバ 3 より取得した顧客情報などをフラッシュメモリ 1 5 あるいはハードディスクドライブ 1 6 に記憶させることにより、次回発注時の処理を簡略化することができる。すなわち、CPU 2 2 は、例えば、図 9 に示されるように、フラッシュメモリ 1 5 あるいはハードディスクドライブ 1 6 に既に記憶されている顧客情報を一覧表示させる。これにより、ユーザは、一覧表示されている顧客情報 1 0 1 の中から配送先を指定することができる。また、一覧表示されていない配送先を指定する場合には、その他入力エリア 1 0 2 が選択されることにより、図 6 に示されるような初期画面が表示され、上述した処理が行われる。

【 0 0 6 5 】

次に、図 1 0 および図 1 1 のフローチャートを参照して、サーバ 3 が実行する、商品の受注処理について説明する。

【 0 0 6 6 】

ステップ S 3 1 において、サーバ 3 の輻輳制御管理部 5 1 は、輻輳制御部 5 5 を介してユーザ端末装置 1 より回線が接続されたか否かを判定し、ユーザ端末装置 1 より回線が接続されるまで待機する。そして、ステップ S 3 1 において、ユーザ端末装置 1 より回線が接続されたと判定された場合、ステップ S 3 2 に進み、顧客管理部 5 3 は、輻輳制御部 5 5 を介してユーザ端末装置 1 より送信されてきた、電話番号（例えば、03-2345-6789）を取得する。

【 0 0 6 7 】

ステップ S 3 3 において、顧客管理部 5 3 は、ステップ S 3 2 の処理で取得された電話番号に対応する顧客情報が、内部に、既に登録されているか否かを判定し、登録されていない場合、その電話番号から電話会社（例えば、A 社の電話会社）を特定する。ステップ S 3 4 において、輻輳管理制御部 5 1 は、輻輳制御部

55を制御し、ステップS33の処理で特定された電話会社（いまの場合、A社の電話会社）の電話会社管理センタ6-1と回線を接続させる。

【0068】

ステップS35において、輻輳制御管理部51は、輻輳制御部55を制御し、電話会社管理センタ6-1とのサーバ接続が確立されたか否かを判定し、サーバ接続が確立されるまで待機する。そして、ステップS35において、輻輳制御部55のサーバ接続が確立されると、ステップS36に進み、顧客管理部53は、電話会社管理センタ6-1に顧客情報の検索を要求する。これにより、電話会社管理センタ6-1は、サーバ3より供給された電話番号（いまの場合、03-2345-6789）に基づいて、顧客情報を検索する。

【0069】

ステップS37において、顧客管理部53は、電話会社管理センタ6-1から顧客情報（検索結果）を取得したか否かを判定し、顧客情報を取得したと判定されるまで待機する。そして、ステップS37において、電話会社管理センタ6-1から顧客情報を取得したと判定された場合、ステップS38に進み、輻輳制御管理部51は、輻輳制御部55を制御し、電話会社管理センタ6-1とのサーバ接続を切断させる。

【0070】

ステップS39において、顧客管理部53は、ステップS37の処理で取得された顧客情報を内部に蓄積する（図4）。ステップS40において、顧客管理部53は、ステップS37の処理で取得された取得情報（顧客情報）を、輻輳制御部55を介してユーザ端末装置1に送信する。これにより、ユーザ端末装置1には、図7に示されるような確認画面がモニタ表示される。この確認画面を確認したユーザにより、OKボタン81が押下されると、受信完了コマンドが、サーバ3に送信される。

【0071】

ステップS41において、輻輳制御管理部51は、輻輳制御部55を介してユーザ端末装置1より送信されてきた受信完了コマンドを検出したか否かを判定し、受信完了コマンドが検出されるまで待機する。そして、ステップS41におい

て、ユーザ端末装置 1 より送信されてきた受信完了コマンドが検出されたと判定された場合、ステップ S 4 2 に進み、顧客管理部 5 3 は、輻輳制御部 5 5 を介してユーザ端末装置 1 に発注情報の送信を要求する。これにより、ユーザ端末装置 1 は、指定した配送先に配送する商品の発注を行う。

【0072】

ステップ S 4 3 において、顧客管理部 5 3 は、ユーザ端末装置 1 より輻輳制御部 5 5 を介して送信されてきた発注情報を受信したか否かを判定し、発注情報を受信されるまで待機する。そして、ステップ S 4 3 において、ユーザ端末装置 1 より発注情報を受信されたと判定された場合、ステップ S 4 4 に進み、輻輳制御管理部 5 1 は、ステップ S 4 3 の処理で受信された発注情報に基づいて、サービスプロバイダ 5 に所定の商品の発注を要求する。これにより、サービスプロバイダ 5 は、サーバ 3 からの発注要求に基づいて、所定の商品の受注が完了したことをサーバ 3 に通知する。

【0073】

ステップ S 4 5 において、輻輳制御管理部 5 1 は、サービスプロバイダ 5 より受注完了を検出したか否かを判定し、受注完了が検出されるまで待機する。そして、ステップ S 4 5 において、サービスプロバイダ 5 より受注完了が検出されたと判定された場合、ステップ S 4 6 に進み、輻輳制御管理部 5 1 は、輻輳制御部 5 5 を介してユーザ端末装置 1 に、受注完了を通知する。

【0074】

ステップ S 4 7 において、輻輳制御管理部 5 1 は、輻輳制御部 5 5 を制御し、ユーザ端末装置 1 との回線接続を切断させ、処理は終了される。

【0075】

以上において、入力された電話番号に対応する顧客管理情報が顧客管理部 5 3 の内部に既に記憶されている場合には、ステップ S 3 4 乃至ステップ S 3 9 の処理を省略することも可能である。

【0076】

このように、サーバ 3 は、ユーザ端末装置 1 より送信されてきた配送先の電話番号から、顧客情報（氏名や住所など）を容易に検索することができる。

【0077】

次に、図12のフローチャートを参照して、電話会社管理センタ6-1乃至6-3が実行する、顧客情報検索処理について説明する。なお、電話会社管理センタ6-1乃至6-3では、同様の処理が実行されるため、電話会社管理センタ6-1を例に挙げて、以下に説明する。

【0078】

ステップS61において、電話会社管理センタ6-1は、サーバ3より接続されたか否かを判定し、サーバ3より接続されるまで待機する。そして、ステップS61において、サーバ3より接続されたと判定された場合、ステップS62に進み、電話会社管理センタ6-1は、サーバ3より供給された電話番号を取得する。

【0079】

ステップS63において、電話会社管理センタ6-1は、ステップS62の処理で取得された電話番号に基づいて、データベース7-1に蓄積されている顧客情報を検索する。ステップS64において、電話会社管理センタ6-1は、ステップS63の処理により顧客情報が検索されたか否かを判定し（対応する顧客情報が見つかったか否かを判定し）、顧客情報が検索されたと判定した場合、ステップS65に進む。

【0080】

ステップS65において、電話会社管理センタ6-1は、ステップS63の処理により検索された顧客情報を取得する。

【0081】

ステップS64において、ステップS63の処理により顧客情報が検索されなかったと判定された場合、ステップS66に進み、電話会社管理センタ6-1は、検索結果が無効である旨の無効通知情報を生成する。

【0082】

ステップS65またはステップS66の処理の後、ステップS67において、電話会社管理センタ6-1は、検索結果（顧客情報または無効通知情報）をサーバ3に送信する。これにより、サーバ3は、電話会社管理センタ6-1より送信

されてきた検索結果を受信、受信が完了したことを電話会社管理センタ 6-1 に通知する。

【0083】

ステップ S 6 8 において、電話会社管理センタ 6-1 は、サーバ 3 より送信されてきた受信完了コマンドを検出したか否かを判定し、受信コマンドが検出されるまで待機する。そして、ステップ S 6 8 において、サーバ 3 より送信されてきた受信完了コマンドが検出されたと判定された場合、ステップ S 6 9 に進み、電話会社管理センタ 6-1 は、サーバ 3 との回線接続を切断し、処理は終了される。

【0084】

以上のように、商品の配送先の住所および氏名を入力する代わりに、配送先の電話番号を入力することにより、その電話番号から、対応する住所および氏名（顧客情報）を特定することが可能になる。また、得られた顧客情報を、ユーザ端末装置 1 またはサーバ 3 に記憶させることにより、再度、同じ電話番号が入力された場合には、顧客情報の検索処理を行う必要がなくなるので、短時間で配送先を特定することができる。

【0085】

上述した一連の処理は、ハードウェアにより実行させることもできるが、ソフトウェアにより実行させることもできる。一連の処理をソフトウェアにより実行させる場合には、そのソフトウェアを構成するプログラムが、専用のハードウェアに組み込まれているコンピュータ、または、各種のプログラムをインストールすることで、各種の機能を実行することが可能な、例えば汎用のパーソナルコンピュータなどに、記録媒体からインストールされる。

【0086】

この記録媒体は、図 2 に示すように、コンピュータとは別に、ユーザにプログラムを提供するために配布される、プログラムが記録されている磁気ディスク 3 1（フロッピディスクを含む）、光ディスク 3 2（CD-ROM(Compact Disk-Read Only Memory), DVD(Digital Versatile Disk)を含む）、光磁気ディスク 3 3（MD(Mini-Disk)を含む）、もしくは半導体メモリ 3 4 などよりなるパッケージメ

ディアにより構成されるだけでなく、コンピュータに予め組み込まれた状態でユーザに提供される、プログラムが記録されているハードディスクドライブ16などで構成される。

【0087】

なお、本明細書において、記録媒体に記録されるプログラムを記述するステップは、記載された順序に沿って時系列的に行われる処理はもちろん、必ずしも時系列的に処理されなくとも、並列的あるいは個別に実行される処理をも含むものである。

【0088】

また、本明細書において、システムとは、複数の装置により構成される装置全体を表すものである。

【0089】

【発明の効果】

以上のように、本発明の情報処理装置および方法、並びに記録媒体に記録されているプログラムによれば、第1の装置から入力された電話番号に基づいて、第2の装置に顧客情報の検索を要求し、第2の装置から供給された検索結果を第1の装置に提示し、第1の装置から入力された発注情報に基づいて、第3の装置に商品を発注するようにしたので、購入した商品の配送先を容易に指定することが可能になる。

【0090】

また、本発明の情報処理システムによれば、第2の情報処理装置が、第1の情報処理装置から入力された電話番号に基づいて、第3の情報処理装置に顧客情報の検索を要求し、第3の情報処理装置から供給された検索結果を第1の情報処理装置に提示し、第1の情報処理装置から入力された発注情報に基づいて、第4の情報処理装置に商品を発注するようにしたので、購入した商品の配送先を容易に指定することが可能になる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明を適用した情報処理システムの構成例を示すブロック図である。

【図 2】

図 1 のユーザ端末装置の詳細な構成例を示すブロック図である。

【図 3】

図 1 のサーバの詳細な構成例を示すブロック図である。

【図 4】

図 2 の顧客管理部の内部に記憶されている顧客情報を説明する図である。

【図 5】

購入処理を説明するフローチャートである。

【図 6】

初期画面の表示例を示す図である。

【図 7】

確認画面の表示例を示す図である。

【図 8】

終了画面の表示例を示す図である。

【図 9】

他の初期画面の表示例を示す図である。

【図 10】

受注処理を説明するフローチャートである。

【図 11】

図 10 に続くフローチャートである。

【図 12】

顧客情報検索処理を説明するフローチャートである。

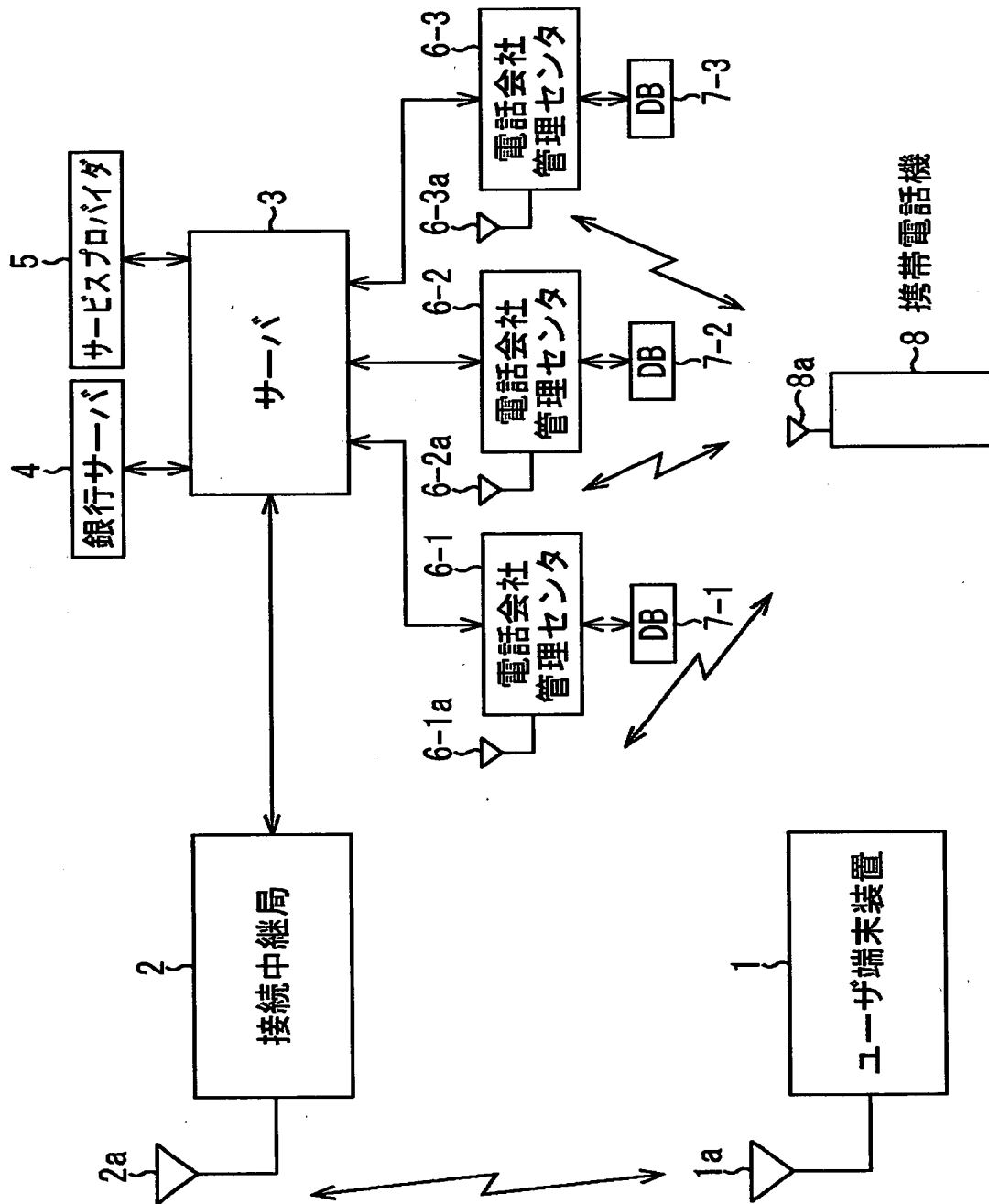
【符号の説明】

1 ユーザ端末装置, 2 接続中継局, 3 サーバ, 4 銀行サーバ,
5 サービスプロバイダ, 6-1 乃至 6-3 電話会社管理センタ, 7-
1 乃至 7-3 データベース, 8 携帯電話機, 11 チューナ, 12
デジタル復調回路, 13 エラー訂正回路, 14 デマルチプレクサ, 1
5 フラッシュメモリ, 16 ハードディスクドライブ, 17 ICカードI/
F, 18 携帯電話モジュール, 19 チューナ 20 ビデオデコーダ,

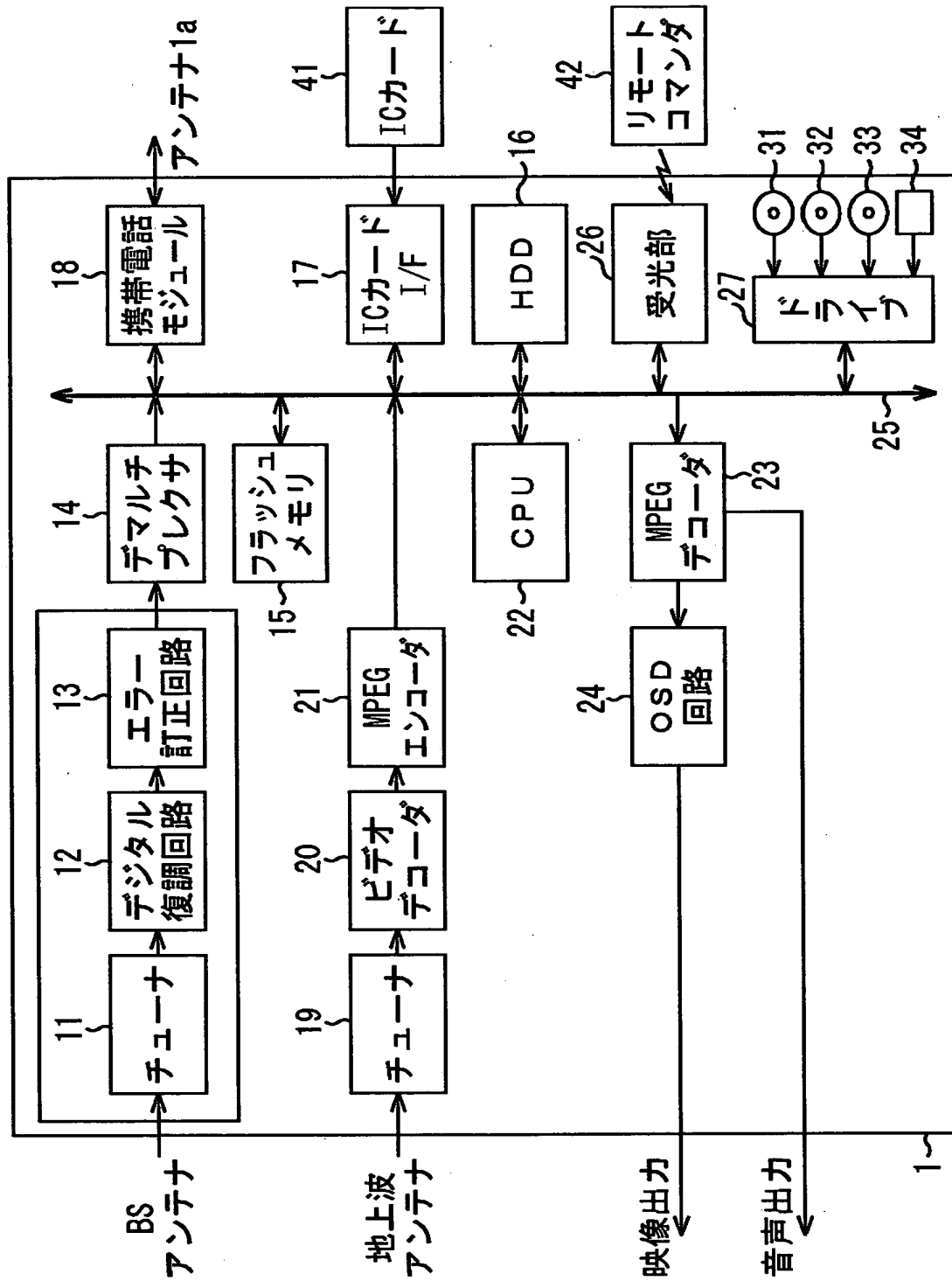
21 MPEGエンコーダ, 22 CPU, 23 MPEGデコーダ, 24 OSD回路,
26 受光部, 41 ICカード, 42 リモートコマンド, 51
輻輳制御管理部, 52 料金管理部, 53 顧客管理部, 55 輻輳制御部
, 56 アプリケーション管理部

【書類名】図面

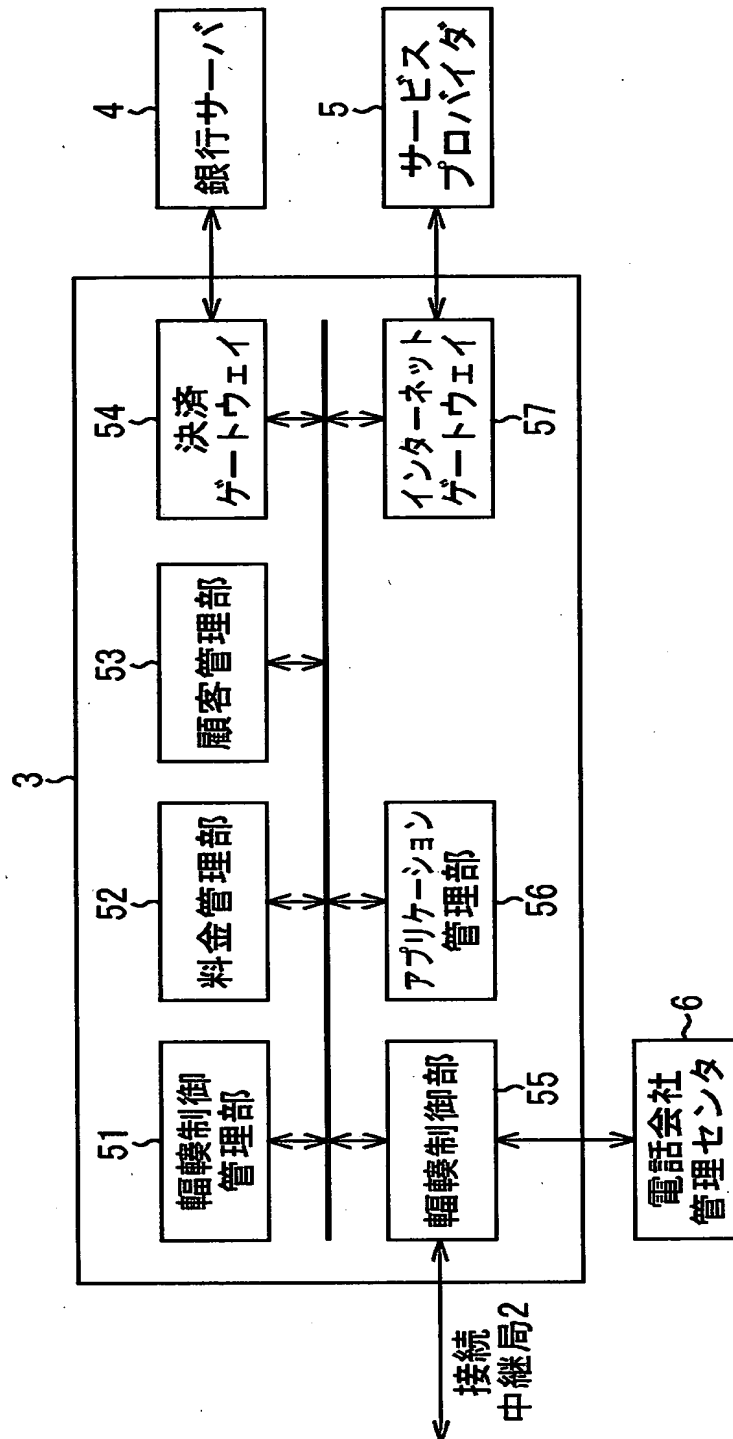
【図1】



【図2】



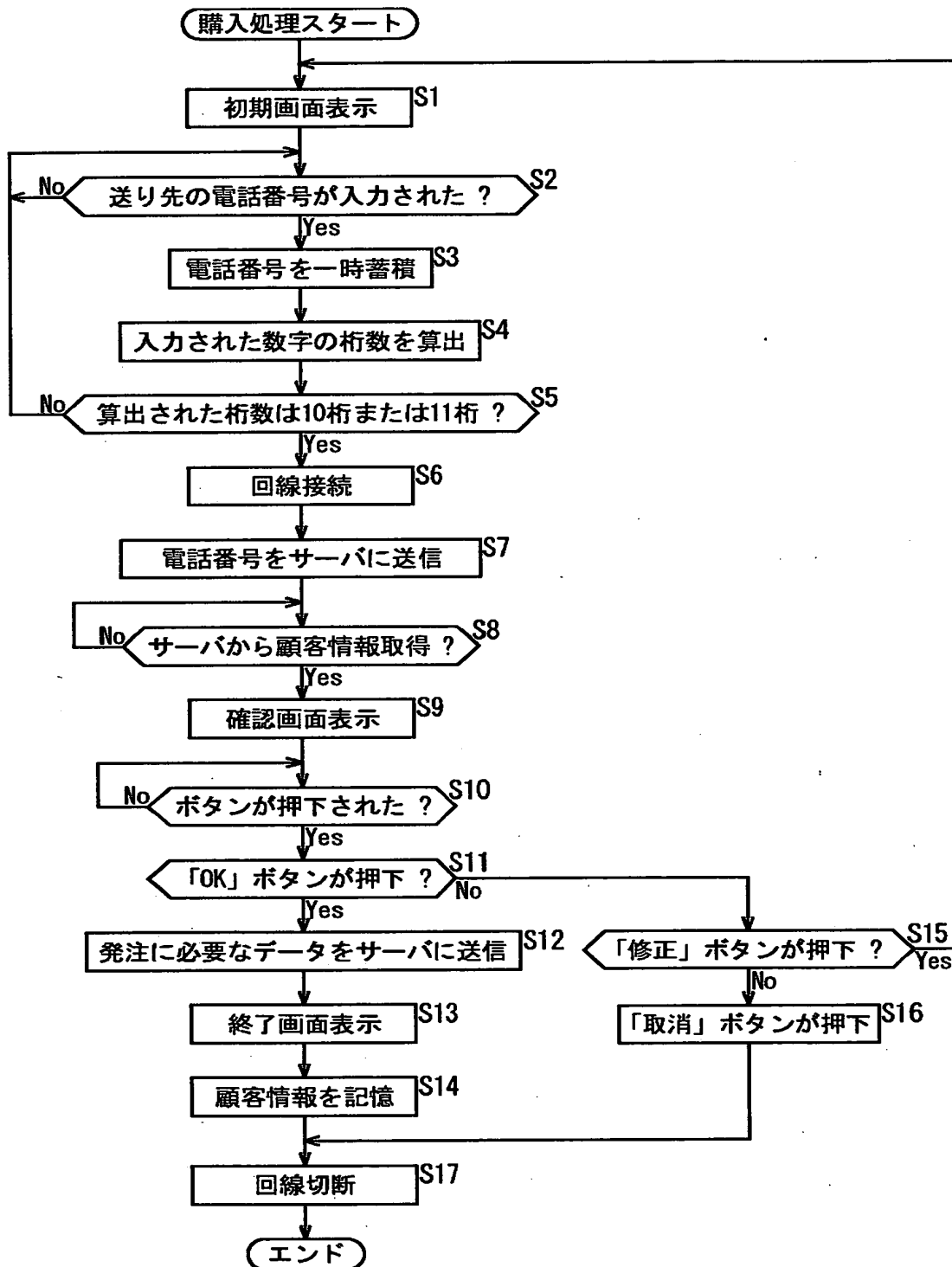
【図 3】



【図 4】

電話番号	氏名	住所
03-2345-6789	江戸太郎	東京都中央区 * * *
045-123-4567	平成花子	神奈川県横浜市 * * *
⋮	⋮	⋮

【図 5】



【図6】

送り先の電話番号を
入力して下さい

71

72

【図7】

送り先は正しいですか
東京都中央区***
江戸 太郎様

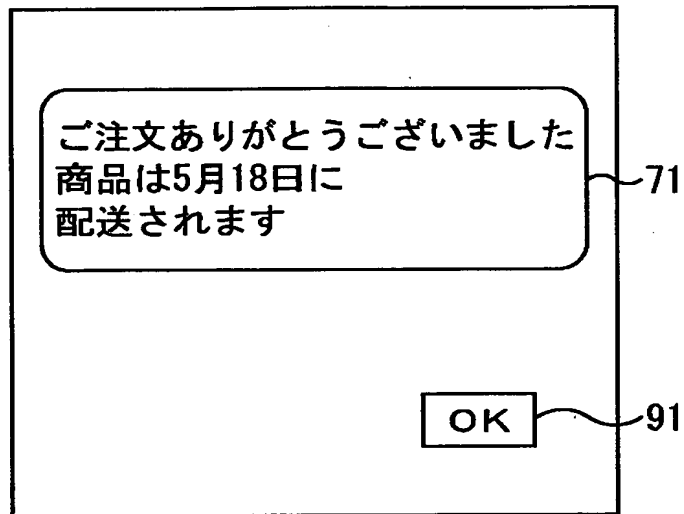
71

81
OK

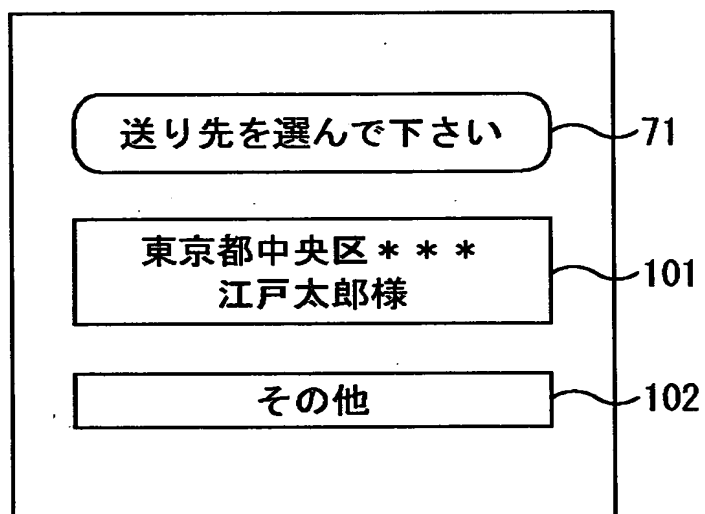
82
修正

83
取消

【図 8】

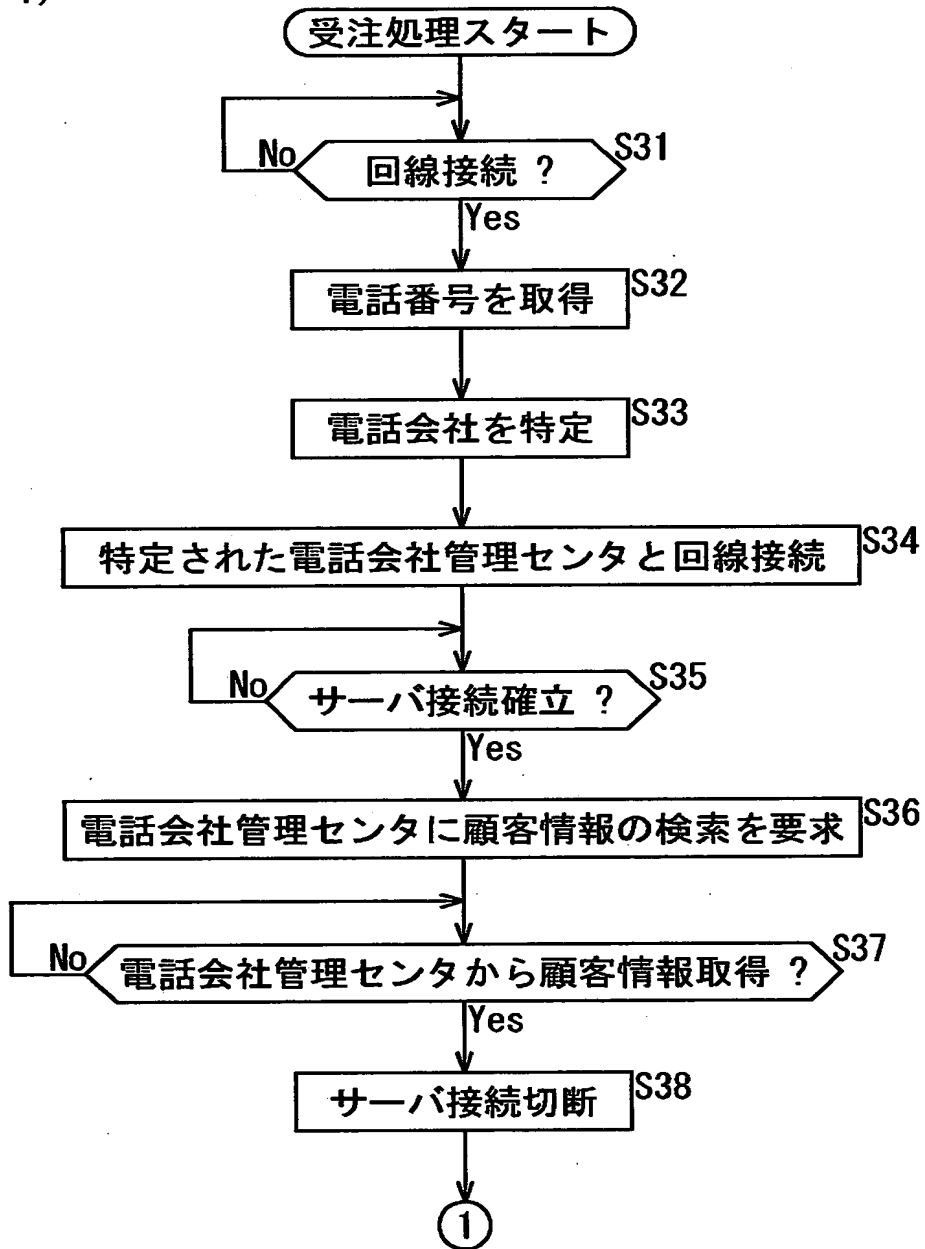


【図 9】



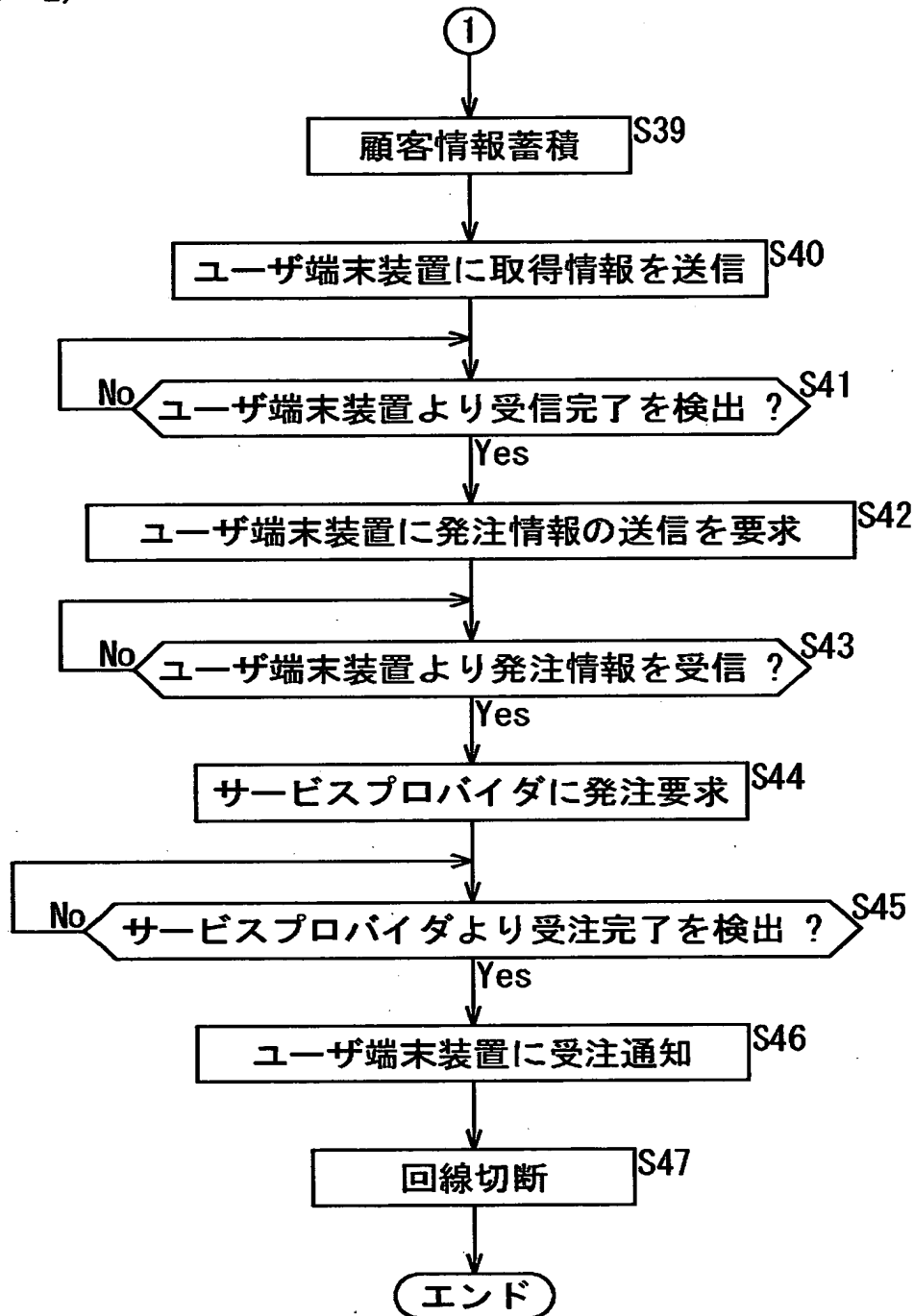
【図 1 0】

(10-1)

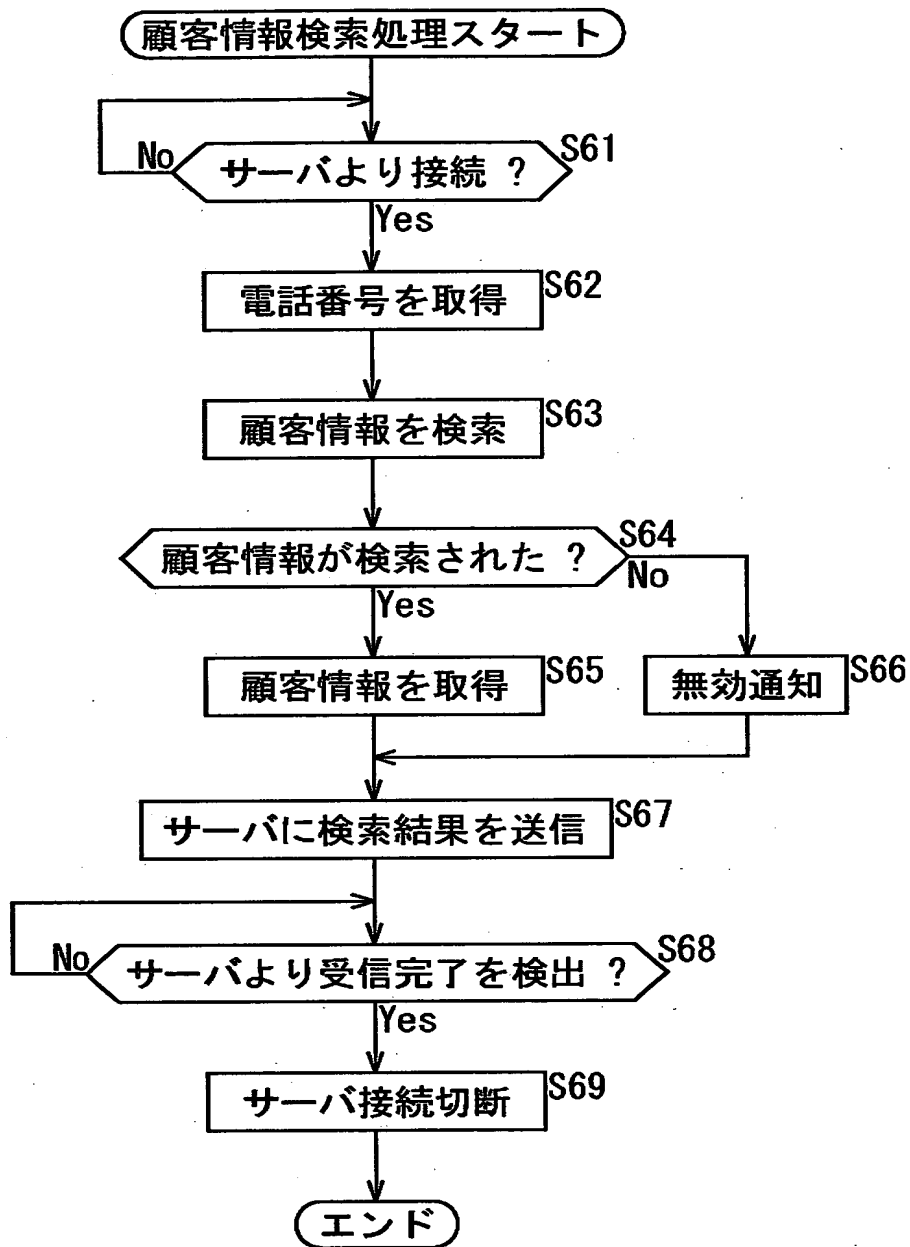


【図 1 1】

(10-2)



【図12】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 購入した商品の配送先を容易に指定することができるようにする。

【解決手段】 ユーザ端末装置 1 は、商品の配送先の電話番号を、接続中継局 2 を介してサーバ 3 に送信する。サーバ 3 は、受信した配送先の電話番号から電話会社を特定するとともに、特定された電話会社に対応する電話会社管理センタ 6-1 乃至 6-3 のいずれか 1 つに、受信した電話番号を送信し、顧客情報の検索を要求する。電話会社管理センタ 6-1 乃至 6-3 は、それぞれ、サーバ 3 からの検索要求を受けて、データベース 7-1 乃至 7-3 に蓄積されている顧客情報を検索する。サーバ 3 は、電話会社管理センタ 6-1 乃至 6-3 より供給された検索結果（顧客情報）をユーザ端末装置 1 に提示する。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000002185]

1. 変更年月日	1990年 8月30日
[変更理由]	新規登録
住 所	東京都品川区北品川6丁目7番35号
氏 名	ソニー株式会社